

事業概要書

	事業名	料理教室を通じた父親の意識改革事業
	団体名	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル
	事業担当課	男女共同参画課
事業概要		
父親の家事・育児への参加促進や、男女は対等なパートナーであることの理解促進の為に、父親と子供が共同で料理をつくるイベントとワークショップを実施します。		
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市では、職場、家庭、学校、地域などあらゆる分野で、女性も男性も個性と能力を発揮し、対等なパートナーとして社会に参画し、自立的な生活を営むことを「男女共同参画」として捉えて施策を進めています。</p> <p>しかし、周囲の家族へのヒアリングや資料(※参照)によると、父親が子どもと一緒に過ごす時間は、その家族が希望する理想の状態とはほど遠く、男性の半数以上が1日1時間未満で、少ないというのが現状です。</p> <p>共働き世帯が増えている現状の中、男女が対等なパートナーとして互いに認識し、日々の生活の中で家事・育児を主体的に分担していくことが、今後ますます必要であると考えます。</p> <p>※資料「男女共同参画社会に関する市民意識調査」（平成28年度 松戸市）図表 I-1-(3)-①</p> <p>仕事・家庭生活・地域や個人生活の時間配分【現状】【希望】</p>	
事業の目的	<p>松戸市男女共同参画プランでも定められている</p> <p>「男性が家事・育児に関わることへの抵抗感を減らす」、</p> <p>「さまざまな分野で女性と男性一人ひとりの能力ををいかす」ために、弊団体の強みである「料理講習」を活用して下記の目的を達成します。</p> <p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親と子どもと一緒に料理をする機会の提供を行うことで、男性が家事・育児に関わるきっかけづくりを行います。 ・料理教室の後にワークショップの時間をとり、父親同士の交流を深めると共に、男女共同参画への男性の理解の促進を図ります。 	
事業内容	<p>年2回程度の父親と子ども向けの料理教室を実施します。</p> <p>【弊団体で実施すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.5時間程度の調理イベント+ワークショップのプログラムを組み立てます。 ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達を行います。 ・広報用のチラシ・ポスターを作成します。 ・イベント当日は、普段はパティシエの仕事を行なっている専門スタッフが調理レクチャーを行い、団体のスタッフがサポート役に回ります。 <p>【事業内容のポイント】</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「どの道具を使うか」といったことから父親と子どもで決めるプログラムで、お互いに学びながら共同作業を楽しむことができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げます。 ・特別な道具や材料を使わず、家庭でもおやつや軽食にも利用しやすいメニューで、イベントでは旬の果物とデコレーションで、記念日のケーキにもなるアレンジで仕上げます。 ・美味しく食事を頂くことが、人生を豊かにし、社会の根っこである家族の絆となります。 ・調理終了後にはワークショップの時間を設け、父親と子どもの意見交換を通じて、男女共同参画への父親の理解を深めます。
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市と協働する事により、信頼と安心感をもってもらえ、イベントに参加しやすくなります。 ・団体の自己資金が少ないため実施できなかった、父親向けの事業を行うことができます。 ・団体が有するノウハウを活かし、松戸市男女共同参画プランにおいて捉えている課題の解決を図ることができます。 ・市側は、団体の親子向けワークショップの経験等を取り入れ、より効果的な企画を立てることが可能になります。 ・団体側は、市の広報力により、より必要な親子へ向けての広報が可能になります。 <p>結果として、効果的なプログラムを、より必要な親子に向けて提供することが可能になります。</p>
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・料理イベントを年2回程度開催し、各回10組20～25名を集客します。 ・父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高めます。 (参加者へアンケート調査を実施し、目標達成度を測定します) ・父親と子どもに、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝えます。

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	169,832 円	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel 団体拠出金	¥ 28,566	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 28,566	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 167,094	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 195,660	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	消耗品費	¥ 101,500	食材 食材1,630円×25人×2回 試作材料5,000円×2回分×2回
	消耗品費	¥ 23,070	資材 クッキングシート800円×5、ラップフィルム550円×8、絞り袋72枚入3,000円 ムースフィルム 100枚2,200円、洗剤 100円×10、スポンジ3個入220円×4、アルコールスプレー(食品用)1,200円×2、ハンドソープ300円×5、キッチンペーパー150円×3、手袋100枚入2,000円、ペーパータオル200組 220円×2、保冷剤50個入800円
	消耗品費	¥ 15,400	ポスター用紙 50円×100枚 インク 5200円×2セット
	印刷製本費	¥ 30,000	チラシ印刷 5円×2,000枚 パンフレット印刷 50円×400部
	使用料及び賃借料	¥ 10,640	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 380円×4時間×4回(レシピ作成試作2回、作業工程確認・注意点共有試作2回) 380円×6時間×2回(イベント2回)
	通信費	¥ 5,050	ゆうメール 310円×10施設 郵便(定形外) 390円×5回
	対象経費の合計 (E)		¥ 185,660
(その他経費)	食糧費	¥ 5,000	会員の昼食代 500円×5人×2回
	交通費	¥ 5,000	会員の交通費 500円×5人×2回
	その他経費の合計額 (F)	¥ 10,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 195,660	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ(4回)	36,920 円	5 人 × 2 h × 4 回 × 923 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会(4回)	29,536 円	2 人 × 4 h × 4 回 × 923 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備(4回)	55,380 円	5 人 × 3 h × 4 回 × 923 円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座(2回)	27,690 円	5 人 × 3 h × 2 回 × 923 円
	チラシ制作	9,230 円	1 人 × 5 h × 2 回 × 923 円
	報告書制作	11,076 円	2 人 × 3 h × 2 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
	合 計 (A)	169,832 円	